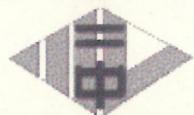


校訓 日新

学校教育目標

- ・美しい心
- ・輝く知性
- ・たくましい体



学校だより5月号  
令和2年5月27日  
都留第二中学校  
文責：斎藤利和



## 学校が再開しました！

新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言の解除を受け、40日間の長期にわたる臨時休業がやっと終わり、5月25日から学校が再開しました。臨時休業期間中には、週1回の分散登校日を設け、子どもたちの健康状態の把握、不安や悩み等の相談に重きをおき、全職員一丸となって努めてまいりました。保護者の皆さんには、臨時休業期間中のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

さて、この度の学校再開は、はじめの1週間が午前のみの分散登校、その後の2週間が一日の分散登校になります。本市では、命を守ること、安心安全を最優先事項とし、段階的に教育活動の再開を進めながら徐々に通常の教育活動に近づけていく方針です。

学校再開の3週間は、学級を2つに分けて授業を行います。学校再開で大事なことは、保護者の方や子どもたちが安心して登校できることだと思います。



職員室のしきり設置



ドアの消毒



フェイスシールド



## 「新しい生活様式」の確立！

学校が再開しても、新型コロナウイルスはなくなりません。怖いのは、学校再開で子どもたちの気持ちがゆるむことです。学校は、三密（密閉・密集・密接）が最も起こりやすい場所です。本校では、教職員が「新しい生活様式」の模範として行動し、子どもたちに「新しい生活様式」を身に付けさせるために、全力で取り組みます。学校における「新しい生活様式」の確立こそが、通常の教育活動に戻れる大事な条件だと捉えています。



マスクをして登校



フェイスシールドを付けて学活



ドアをはずして換気



人ととの距離をとって移動



廊下の様子



こまめな手洗い



## 感染予防・拡大防止対策を徹底し、通常の教育活動に戻す！

今は分散登校のため、子どもたちは登校と家庭学習を交互に行うかなり制限のかかった生活を余儀なくされています。学校が再開しても、子どもたちが楽しみにしている部活動や生徒会活動、学校行事等はひとつも再開できていません。長期にわたる臨時休業では、子どもたちは外に出たいのも我慢し、自粛をよく頑張っていました。その影響による運動不足や体力の低下、ストレスの蓄積などが大変心配です。子どもたちが楽しみにしている部活動や行事等を、何とか早く再開してあげたいと強く感じています。

そのためには、感染予防・拡大防止対策を徹底し、「新しい生活様式」を確立することが不可欠です。再度、本校の対策を確認していただき、ご家庭でも家族みんなで取り組んでいただければ幸いです。

### ■本校の感染予防・拡大防止対策（「新しい生活様式」の確立）

- ①毎朝の検温。風邪等の症状の確認。  
※検温しないで登校した生徒は、学校で検温する。
- ②登校したら、手指の消毒。
- ③こまめな手洗い・うがい。
- ④一日を通してマスク着用。
- ⑤よく触れる箇所の消毒。（ドアノブ、手すり、スイッチ、机、テーブル等）
- ⑥一日を通して窓を開けておく。廊下側のドアははずしておく。（換気）
- ⑦席をできる限り離す。（前向き）
- ⑧休み時間、昼休み等の過ごし方を徹底。（原則、授業準備とトイレ）
- ⑨人と1～2m以上離れて生活する。（密着や近距離での会話は避ける等）  
※各学年職員3～4人で、休み時間・昼休みの生徒の様子を観察・指導。
- ⑩給食配膳時の指導徹底。（手洗い・うがい、机上の消毒等）
- ⑪給食を食べる時は、前向きで、会話を控える。
- ⑫下校時に、みんなで集まらない。まっすぐ帰宅。



人ととの距離をとって授業



体育の授業



マウスシールドを付けて授業